

関 航太郎 (SEKI Kotaro)

研究員

- 1997年 東京都大田区 生まれ
- 2020年 明治大学 農学部農学科 卒業
- 2020年 東京シティ青果 入社 (2021年3月まで)
- 2023年 明治大学大学院 農学研究科農学専攻 修了
- 2023年 農研機構 野菜花き研究部門
施設生産システム研究領域
施設野菜花き生産管理システムG
- 2023年 農林水産省 農村振興局 整備部
地域整備課 農村資源循環班
- 2024年 農研機構 農村工学研究部門
資源利用研究領域 地域資源利用・管理G



研究者の横顔

<農工研に至るまで>

2024年度より地域資源利用・管理Gに配属となりました関航太郎です。私は6歳まで東京都、それ以降は神奈川県のお宅が多い地域で育ちました。そのため自然とは縁遠い人生...というわけではなく、里帰り出産だったため出生地は栃木県那須塩原市、また共働き家庭だったため祖父母宅に預けられる機会も多く、幼少期は里山と触れ合って育ちました。そんな縁もあり、中学時代の夏休みの課題において那須疎水と開拓、用水利用を調べ上げました。学園祭にも展示されるほど好評で、思えばこれが私と農業農村工学の起点となりました。

その後、農業と農業農村工学のどちらの授業も受講することができる明治大学に進学し、この時の授業や農業実習から農業を通して日本に貢献したいと考え、大学卒業時には産地と消費者を繋ぐ



青果市場へ就職しました。青果市場は全国の産地から来た農作物の値段が決まる場所で、作況や消費者動向を肌で感じ色々なことを学びました。しかし、コロナ禍での行動変容や産地の状況を見聞きして、強い農業・零細でも続けられる農業の仕組みを今から取り組まないと10年後ですら厳しい状況ではないかと思い立ち、修士課程へ進学しました。色々悩んだ末、農研機構ならこの想いを実現できると思い、研究室の方々を支えられなんとか採用、現在に至ります。

<趣味>

旅行することが好きです。中学・高校時代はいわゆる乗り鉄で、仲間と夜行列車等に乗って旅行していました。大学進学後に自動車や二輪の免許を取ったことで、ドライブやバイクツーリングも加わり、手段や個人・グループ問わず計画すること込みでお出かけ好きです。

右上の写真は昨夏の北海道ツーリングで、2016年に廃駅になった旧増毛駅での写真です。公共交通機関存続に関しては十把一絡げに言える話ではありませんが、研究を通して農業や地場産業の存続・活性化につながり、結果として旅行先が100年後も存続しているような状況になれば良いなと思っています。あとは次回の執筆までに旧令制国全制覇(あと5国)を達成したいです。